

平成29年度着手

(令和2年度1回目変更)

(令和3年度2回目変更)

(令和6年度3回目変更)

土 地 改 良 事 業 変 更 計 画 書

(農業競争力強化農地整備事業 鍋石地区)

事業主体

広島県

施工場所

安芸高田市高宮町

第1章 目 的	1
第2章 地域及び地積	1
第1節 地 域	1
第2節 地 積	1
第3章 現 況	2
第1節 気象及び海象	2
1 一般気象	2
2 特殊気象	2
3 海 象	3
第2節 土地状況	3
1 地形、土壌及び侵食の程度	3
2 土地分類	4
3 土地利用の状況	4
4 土地所有の状況	5
第3節 水利状況	5
1 用水状況	5
2 排水状況	8
3 河川状況	10
第4節 道路概況	10
1 道路概況	10
2 主要道路一覧表	11
第5節 地域農業の概況	11
1 産業別就業人口	11
2 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼別農家数	11
3 動力農機具及び主要家畜頭数	12
4 主要作物作付状況	13
5 農業の動向	13
第6節 地域環境の概要	14

第4章 一般計画	15
第1節 事業計画の要旨	15
1 要 旨	15
2 事業別面積	15
第2節 営農計画及び土地利用計画	15
1 営農計画の概要	15
2 土地利用区分	15
3 作付方式	16
4 生産計画	17
5 労働改善計画	18
6 級地別土地利用区分	19
7 土地配分計画	19
第3節 用水計画	20
1 計画基準年	20
2 計画かんがい方式	20
3 計画用水系統	20
4 計画用水量	20
5 水源計画	21
第4節 排水計画	23
1 計画基準雨量	23
2 計画排水方式	23
3 計画排水系統	23
4 計画排水量	23
5 排水対策	23
6 たん水検討	24
第5節 道路計画	25
1 道路及び索道	25
2 路線配置図	25
第6節 農用地造成計画	25
1 農用地造成計画	25
2 土壌改良	25

第7節	洪水調節計画	26
1	計画基準雨量	26
2	計画洪水量及び調節量	26
3	貯水池	26
4	洪水調節検討	26
5	管理計画	26
第8節	干拓計画	26
第9節	農用地整備計画	27
1	区画整理	27
2	暗渠排水	27
3	客土	28
4	農地保全	28
第10節	老朽ため池改修計画	29
1	洪水吐改修計画	29
2	堤体補強計画	29
3	取水施設改修計画	29
第5章	主要工事計画	30
第1節	用水施設	30
1	貯水池	30
2	頭首工	30
3	揚水機	30
4	用水路	30
第2節	排水施設	31
1	排水水門	31
2	排水機	31
3	排水路	31
4	その他	31
第3節	道路及び索道	32
1	道路	32
2	索道	32

第4節	農用地造成	32
1	農用地造成	32
2	土壌改良	34
第5節	洪水調節施設	34
1	貯水池	34
2	頭首工及び導水施設	34
第6節	干拓施設	34
1	堤防	34
2	潮止め	35
3	付属施設	35
4	埋立	35
第7節	農用地整備施設	35
1	区画整理	35
2	暗渠排水	36
3	客土	36
4	除礫	36
5	農地保全	37
第8節	老朽ため池改修施設	37
1	貯水池	37
2	堤体補強施設	37
第6章	附帯工事計画	38
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	38
第8章	環境との調和への配慮	38
第9章	換地計画の概要	38
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	38
第2節	換地区の設定	38
1	換地区の名称、所在、面積	38
2	換地区を設定する理由	38

第3節	換地区計画樹立の基本方針	38
1	従前の土地の地積の基準	38
2	用途別予定地積	39
3	農用地集団化の方針	40
4	非農用地の換地方法	40
第4節	土地の評価及び清算の方法	40
1	評価の方法	40
2	清算の方法	40
第5節	換地計画樹立の年度計画	40
第6節	換地処分の特則	40
第10章	事業費の総額及び内訳	41
第11章	効用	41
第12章	関係する事業	41
第13章	現況・計画図面	41
1	現況平面図	
2	計画平面図及び土地利用計画図	
3	主要構造図	

第1章 目 的

本地区は安芸高田市の北部に位置し、広域農道高北線沿いに広がる牧草地帯である。昭和38～44年度に県営開発パイロット事業による開拓地であり、当時、野菜栽培から酪農へ転換を図り、広島一の酪農地帯になった。また、この事業に併せて香六ダムとパイプライン工事を行うなど水利確保に苦勞してきた。このパイプラインも昭和44年から耐用年数が経っており老朽化・劣化が進んでいる。今回、県域プロジェクトとしてキャベツ大規模産地化と相まって本地区の低利用地を再整備し、パイプラインの改修等による植栽条件整備も行い、経営予定の企業参入、地元法人、個別経営体等の中心経営体への集積を推進する。なお、今回の計画変更は、事業量及び事業費に変更があったため行うものである。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事業名	地 域
農業競争力強化農地整備事業	安芸高田市高宮町

第2節 地 積

(第2表)

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名							
農業競争力強化農地整備事業	安芸高田市	8.1	31.7	0.5	0.4	3.9	44.6	
合 計		8.1	31.7	0.5	0.4	3.9	44.6	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1 一般気象

(第3表-1)

観測所名 庄原		かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間 1979年～2015年		5月～9月	10月～4月		
平均気温 (°C)		20.9	6.2	12.4	
降水量	平均 (mm)	897.1	582.9	1480.0	
	基準年 (mm)				
降水日数	平均 (mm)	55	78	133	
	基準年 (mm)				
根雪期間		- 月 - 日	～ - 月 - 日	- 日間	
無霜期間		- 月 - 日	～ - 月 - 日	- 日間	
最多風向		西北西	最大風速 (風向)	12.2 m/s (南南西)	最多風向発生時期 10月～4月 最大風速発生年月日 2012年4月3日

2 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位		
甲田															
観測期間	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率
S51年～H27年															
最大日雨量 (mm)	193	H18.9.16	95.7	164	H9.8.5	24.2	151	H5.7.27	13.6	142	S60.7.6	9.3	141	H22.7.14	8.9
最大時間雨量 (mm)	50	H23.8.26	30.6	48	H20.8.29	21.1	48	H17.8.15	21.1	47	H22.7.12	17.6	42	S59.7.25	7.6
最大4時間雨量 (mm)	119	H18.9.16	63.1	108	H22.7.14	26.9	107	S60.7.6	24.9	94	H1.8.27	10.0	94	H12.6.24	10.0
最大連続雨量 (mm)	347	H7.6.30 ～ 7.7	-	337	H22.7.11 ～ 7.16	-	331	S54.6.26 ～ 7.2	-	327	H9.7.1 ～ 7.13	-	315	S58.7.20 ～ 7.23	-
最大連続干天日数 (日)	32	S58.7.24 ～ 8.24	35.5	29	H24.7.15 ～ 8.12	18.4	28	H2.7.16 ～ 8.12	14.8	26	H22.7.16 ～ 8.10	9.8	26	S53.8.4 ～ 8.29	9.8

3 海象

該当なし

(第3表-3)

観測所名		既往最高潮位 (m)	さく望平均満潮位 (m)	上下弦平均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均干潮位 (m)	さく望平均干潮位 (m)	既往最低潮位 (m)
観測期間	年～年							
実測値		()						()

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田・畑						樹園地・その他								受益地標高(m)	
	傾斜 区分	1/1000 以下	1/1000 ～1/100	1/100 ～1/20	1/20 ～1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ～8°	8°～15°			15° ～20°	20° 以上	計	最高	最低
										8° ～10°	10° ～12°	12° ～15°					
農業競争 力強化農 地整備事 業	面積 (ha)			11.7	28.1		39.8									315	27
	比率 (%)			29	71		100										
合計	面積 (ha)			11.7	28.1		39.8										
	比率 (%)			29	71		100										

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土 壌 統 (区) 区 分 一 覧 表									面積(ha)		備 考	
	土 壌 断 面							堆積様式	母材	事 業 名			
	色	腐 植	礫 層	酸化 沈殿物	土 性					泥 炭 層 黒 泥 層 及びグライ層	農業競争力強化農 地整備事業		計
					表 土 一 層	下 層 土 二 層 三 層							
早稲原 粘土質構造滴俺型 G-61	黄褐色	なし	なし	-	LiC	HC		あり	洪積世堆 積残積	非固結 堆積岩	38.6	38.6	
計												38.6	

該当なし

(第4表-1-3)

事業名	区分	土壌の流亡率				年平均流亡速度				ガリ浸蝕の程度		備 考
		0	0～25%	25～50%	50%	0	3mm未満	3～5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
農地 保全	面積(ha)											
	比率(%)											

2 土地分類

該当なし

(第4表-2-1)

市町村名	級地別 (ha)	農用地造成										計 (ha)	備考
		一級地	二級地				三級地				四級地		
		※ (ha)	3°～8° (ha)	8°～12° (ha)	12°～15° (ha)	※ (ha)	15°～20° (ha)	20°～25° (ha)	25°～30° (ha)	※ (ha)	30°以上 (ha)		
計													※は傾斜以外の要因によるもの

該当なし

(第4表-2-2)

市町村名	級地別 (ha)	干 拓				計 (ha)	備考
		一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)		
計							

3 土地利用の状況

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山林		採草 放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
農業競争力強化農地整備事業	安芸高田市	8.1	31.7						0.4		0.5	3.9	44.6	
合 計		8.1	31.7						0.4		0.5	3.9	44.6	

4 土地所有の状況

(第4表-4)

事業名	所有別 区分	個人所有	国所有	県所有	市所有	改良区所有	計	備 考
農業競争力強化農地整備事業	面積 (ha)	41.0			3.6	0.0	44.6	
	受益者数 (人)	29					29	
	筆数 (筆)	115			47	4	166	
	権利関係 (人)	36					36	
	備考 (関係戸数)							
合 計	面積 (ha)	41.0			3.6	0.0	44.6	
	受益者数 (人)	29					29	
	筆数 (筆)	115			47	4	166	
	権利関係 (人)	36					36	
	備考 (関係戸数)							

第3節 水利状況

1 用水状況

パイプラインを水源としている。

(1) 用水系統

別添資料①参照

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ 取水量	備 考
		ha以上		～ha		100 ha未満									
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m³/s	箇所	m³/s	m³/s	
農業競争 力強化農 地整備事 業	貯水池														
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機					1	39.9	1	39.9			1	0.148		
	その他					1	31.9	1	31.9						パイプライン
合 計						2	71.8	2	71.8			1	0.148		

(イ) 改修を要する施設一覧表

()は変更前

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積(ha)	構 造	規 模	新設年 又は 更新年	改修を 必要とする 理由	備 考
農業競争 力強化農 地整備事 業	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機	羽佐竹第1揚水機	39.9 ha	渦巻ポンプ	口径200mm	(R3) R4	老朽化	
	用水機							
	その他	パイプライン	31.9 ha	石綿管、VP50～300	L=4.0km	(R2～R6) R2～R8	老朽化	
合 計								

(ア) 用水不足による被害状況

該当なし

[illegible]

該当なし

事業名	時期別	かんがい 面積 (ha)	水温(℃)		水質	被害量 (t)	備 考
			最高	最低			

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況 該当なし

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (百万円)					計	備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他		
合 計											

2 排水状況

(1) 排水系統
別添資料④参照

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計	排水償行 (m ³ /s)	現況排水能力 (m ³ /s)	備考	
			500 ha以上		500ha未満～100ha		100 ha未満						
			箇所	面積ha	箇所	面積ha	箇所	面積ha	箇所	面積ha			
農業競争力強化農地整備事業	自然	排水路					2	51.3	2	51.3	1.432	1.718	
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
合 計							2	51.3	2	51.3	1.432	1.718	

(イ) 改修を要する施設一覧表

該当なし

(第5表-5)

（第〇表）

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新年	改修を必要とする理由	備 考
	施設名								
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
合 計									

(3) 排水に関する被害状況

該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛 水 状 況				乾 湿 状 況 (ha)						平 均		備 考
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m³)	田		畑		その他		減 産 量		
									乾	湿	乾	湿	乾	湿	作物名	減産量(t)	
			平均														
			基準年														
			平均														
			基準年														
			平均														
			基準年														
合 計			平均														
			基準年														

3 河川状況

(1) 河川状況

該当なし

(第5表-7)

河川名	項目	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m ³ /s)	既往最大洪水量 (m ³ /s)	備考

(2) 洪水に関する被害状況

該当なし

(第5表-8)

区分	項目	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
	過去の最大被害額					
	平均被害額					

第4節 道路概況

1 道路概況

本地区は、地区の南側を広域農道高北線が東西に縦断し、これに市道が接続する。また、これらの主要道路から本地区への接続する農道は未改修で農道の幅員が狭く、農道に面していないほ場も多くあるため、農業機械の搬入搬出や農作物の運搬に多大な時間と労力を要している。

2 主要道路一覧表

(第6表)

No	路線名	管理区分別	延長(m)	幅員(m)		構 造	改修の要否	備 考
				全幅	有効			
	市道高北1号線(3003)	市	9,974.0	6.0 ~ 6.5	-	アスファルト舗装	否	
	市道中羽野々原線(2008)	市	2,811.0	4.0 ~ 5.5		アスファルト舗装	否	

第5節 地域農業の概況

1 産業別就業人口

(第7表-1)

項目	総 数	農 業	林 業	漁 業	鉱業等	建設業	製造業	電気ガス 熱供給 水道業	運 輸 通信業	卸売り 小売業	金融 保険業	不動産業 等	サービス業	公 務	その他	備 考
市町村名	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
安芸高田市	15,661	2,436	74	4	6	1,094	3,195	29	812	1,922	135	74	2,698	543	2,639	
比率(%)	100	15.6	0.5	0.0	0.0	7.0	20.4	0.2	5.2	12.2	0.9	0.5	17.2	3.5	16.8	

資料:国勢調査(H22)

2 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

(第7表-2)

区分 市町村名	農 家 総戸数 (戸)	経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積(ha)					耕地の分散状況		専兼業別家数(戸)			備 考	
		例外規定 の適用を 受けるもの	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20 以上 ha	自給 的 農家	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	一戸 当たり 団地数	団地 当たり面積 (ha)	専 業	兼 業		
																						第一種		第二種
安芸高田市	4,032	-	749	1,355	464	123	64	63	43	9	2	1,160	0.6	0.1	0.0	0.7		0.7	-	-	667	295	1,910	
比率(%)	100		19	34	12	3	2	2	1	0	0	29									17	7	47	

資料:農業センサス(H22)、広島農林水産統計年報

3 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

市町村名	項目	動力農機具								主要家畜						備考
		トラクター等		田植機		コンバイン				乳用牛		肉用牛		豚		
		数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	
安芸高田市		2,791	2,599	2,227	2,184	2,196	2,127			972	28	1,800	73	X	2	
100戸当り 数量(台、頭)		107		102		103										
利用戸数 割合(%)		64		54		53										

資料:農業センサス(H22)

4 主要作物作付状況

(第7表-4)

市町村名			安芸高田市		計		平均		作付率 (%)	備考	
総耕地面積(ha)			4,420		4,420						
総本地面積(ha)			-								
区分			作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg・10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)			
作物名											
田	表作	水稻	2,430	543					55		
		大豆	60	100					1		
	裏作										
	小計										
畑	春夏作										
	秋冬作										
	小計										
樹園地											
	小計										
計			-				-				
市町村別 延べ作付率(%)			-				-				

資料: 広島農林水産統計年報(H23-24)

5 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農家			土地			主要作物			大家畜			動力農機具			地域 指定等	備考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変化の 状況 (C年を 100とする 指数)	総農家数	83	73	耕地	90	89	米	50	55	乳用牛	-	-	耕運機	60	55	A:平成22年 B:平成17年 C:平成12年	
	専業農家数	94	68	田	116	114	麦類	440	360	肉用牛	-	-	田植機	88	75		
	第一種兼業農家数	82	96	普通畑	150	164	豆類	11	20	豚	-	-	コンバイン	91	80		
	第二種兼業農家数	80	72	樹園地	-	-	野菜	18	29	採卵鶏	-	-	防除機	-	-		
	農業従事者数	66	57														
変化の 理由	農業を取り巻く社会情勢の変化による。																

資料: 農業センサス、広島農林水産統計年報

第6節 地域環境の概要

安芸高田市の中北部に位置し、中国山地内陸型の気候で、瀬戸内海沿岸に比べ冬期の気温が低く、夏期は比較的冷涼で、気象は年間平均気温13.5℃、年間平均降水量1,529mmである。地形は、地区の中央を広域農道高北線沿いに広がる牧草地帯である。

当該地区は環境配慮区域に指定されており、工事の施工前から随時確認を行い、必要に応じて工法検討を行う必要がある。

なお、現地調査の結果、イチョウウキゴケ、シャジクモ、アカハライモリ、トノサマガエル、キキョウ、カヤネズミなど、環境省及び広島県のレッドデータリストに掲載されている動植物が確認されている。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要 旨

本地区は安芸高田市の中北部に位置し、広域農道高北線北側に展開する牧草地帯であるが近年は、多くが遊休農地となっている。農業用水のパイプラインは約50年が経過しており老朽化による漏水が著しい。本地区をキャベツ等の大規模農業生産団地として有効利用するための植栽条件整備を行い、企業の新規参入や地域の核となる経営力の高い担い手の育成を図る。また本地区を春・秋キャベツの産地とすることで、広島県としての周年出荷体制を確立し、県域プロジェクトに貢献する。

2 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分	農業競争力強化農地整備事業																計 (ha)	備考
	水田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 造成有 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)			小計 (ha)	水田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	山林原野等 (ha)	その他			小計 (ha)		
区画整理	6.1		27.9	0.3	10.3			44.6										
(土壌改良)			26.5					26.5										
(暗渠排水)	34.0							34.0										
計	6.1		27.9	0.3	10.3			44.6										

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

県域プロジェクトのキャベツ大規模産地化と相まって低利用農地の再整備、パイプラインの改修等による条件整備を行い、中心経営体への集積を推進する。

2 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分 区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	原野 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
農業競争力強化 農地整備事業	現況	8.1	31.7					39.8	0.5	0.4	3.9	44.6	
	計画	6.1	27.9	0.3				34.3			10.3	44.6	
計	現況	8.1	31.7					39.8	0.5	0.4	3.9	44.6	
	計画	6.1	27.9	0.3				34.3			10.3	44.6	

3 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用 区分	1年目												2年目												備考
				1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	
農業競争力強化 基盤整備事業	現況	水稻	田				○	△					×					○	△					×			○:播種	
		牧草	畑						×				○						×				○			△:定植		
	計画	水稻	田				○	△					×					○	△					×			×:収穫	
		野菜他	畑				○	△		×	○	△		×					○	△		×	○	△		×		
				3年目												4年目												
	現況	水稻	田				○	△					×						○	△					×			
		牧草	畑						×				○							×				○				
	計画	水稻	田				○	△					×						○	△					×			
		野菜他	畑				○	△		×	○	△		×					○	△		×	○	△		×		

4 生産計画

()は変更前

(第9表-3)

事業名	項目 土地 利用区分		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり 収量(kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量 増減の内訳(t)		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積 増減	単位面積当たり 収量増加	
農業競争力強化農地整備事業	田	表作	水稲	3.9	5.1	1.2	11	(12) 14	(512) 511	(520) 526	(8) 15	(20.0) 19.9	(26.5) 26.8	(6.5) 6.9	(6.1) 6.1	(0.4) 0.8	
			自己保全	3.3	0.0	△ 3.3	(9) 9	0									
	畑	表作	キャベツ	0.0	(29.8) 14.4	(29.8) 14.4	(69) 41	0	3,800	(4047) 4,294	(247) 494	0.0	(1206.0) 618.3	(1206.0) 618.3	(1132.4) 547.2	(73.6) 71.1	
			白ねぎ	0.0	(8.3) 4.7	(8.3) 4.7	(19) 13	0	(1011) 1,774	(1077) 2,005	(66) 231	0.0	(89.4) 94.2	(89.4) 94.2	(83.9) 83.4	(5.5) 10.8	
			牧草	(28.2) 1.7	0.0	(△28.2) △ 1.7	(80) 5	0	650	650	0	(183.3) 11.1	(△183.3) 0.0	(△183.3) △ 11.1	0.0		
			加工用トマト	0.0	11.3	11.3	0	32	1,739	2,000	261	0.0	226.0	226.0	196.5	29.5	
			自己保全	26.5	0.0	△ 26.5	(0) 75	0									
	計			35.4	(43.2) 35.5	(11.1) 0.1	100	100									

5 労働改善計画

()は変更前

(第9表-4)

事業名	項目 土地 利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量(hr/10a)				備考
				区分	現況	計画	増減	
農業競争力強化農地整備事業	田	水稲	5.1	人 力	25.2	9.8	15.4	
				機械力	5.4	4.6	0.8	
				人 力				
				機械力				
				人 力				
				機械力				
				人 力				
				機械力				
	畑	キャベツ	(29.8) 14.4	人 力	43.1	32.4	10.7	
				機械力	12.9	9.9	3.0	
		白ねぎ	(8.3) 4.7	人 力	599.4	450.9	148.5	
				機械力	(125.4) 125.4	(55.0) 55.0	(70.4) 70.4	
		加工用トマト	11.3	人 力	479.0	238.4	240.6	
				機械力	103.7	82.3	21.4	
				人 力				
				機械力				
				人 力				
				機械力				
	計	(43.2) 35.5	人 力	(667.7) 1,146.7	(493.1) 731.5	(174.6) 415.2		
			機械力	(143.7) 247.4	(69.5) 151.8	(74.2) 95.6		

6 級地別土地利用区分

該当なし

(第9表-5)

土地 利用区分	区分 級地名	農用地造成(ha)					干拓(ha)					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草畑)											
	樹園地											
	(果樹園)											
	(桑園)											
その他												
計												

7 土地配分計画

該当なし

(第9表-6)

(第2表)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地目別配分計画(ha)								備 考
		田	転換耕地	畑					計	
				普通畑	牧草畑	樹園地				
増 反		()	()	()	()	()	()	()	()	
入 植		()	()	()	()	()	()	()	()	

第3節 用水計画

1 計画基準年

近傍甲田観測所の資料(昭和51年～平成27年)における、かんがい期間中の有効雨量と連続干天日数の1/10年確率を求め、昭和53年を計画基準年とする。

2 計画かんがい方式

パイプラインにて取水かんがいを行う。かんがい期間は4月25日～9月20日の149日間とし、代掻き期は4月25日～5月4日の10日間とする。

3 計画用水系統

別添資料②参照

4 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積(ha)			水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			そ の 他		消費 水量 (m³/s)	損 失 率 (%)	粗 用 水 量		備 考
		農業競争力強化農地整備事業	計	普通期 計画 単位 平均 水量 (mm/日)	代かき期 計画 単位 代用 水量 (mm)	面積 (ha)	深 り 計 画 平 均 日 か ん た 水 (mm/日)	平 均 間 断 日 (日)	面積 (ha)	深 り 計 画 平 均 日 か ん た 水 (mm/日)	平 均 間 断 日 (日)	面積 (ha)	平 均 計 画 単位 水量 (mm/日)	面積 (ha)	平均 (m³/s)			最大 (m³/s)		
A	農業用水	30.3	30.3	17	140	7.1				5	4	23.2	~		0.131	15	0.001	0.025		
計		30.3	30.3			7.1						23.2					0.001	0.025		

(2) 営農飲雑用水

該当なし

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積 (ha)			日当たり給水量		補給回数(回)	関係戸数(戸)	備考
		事業名			単位給水量 (ℓ/日)	最大給水量 (ℓ/日)			
				計					

5 水源計画

(1) 水利用計画

別添資料③参照

(第10表-2)

項目 区分 (事業名)	消費 水量 a (千m ³)	有効 雨量 b (千m ³)	純用 水量 c=a-b (千m ³)	粗用 水量 d= c/(1-a) (千m ³)	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源 工種	備考 損失率 :a
					水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足 水量	全不足 水量	水源名	水量		
						e (千m ³)	f (千m ³)	g=c-f (千m ³)	h=d-e (千m ³)		(千m ³)		
計													

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

該当なし

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積 (km ²)		かんがい面積(ha)		純貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備考
	直接	間接	事業名						
				計					
計									

該当なし

(第10表-4)

[illegible]

(ウ) 揚水機

(第10表-5)

項目 名称		水源名	かんがい面積(ha)		所要水量(m ³ /s)		揚水機				備 考
			事 業 名		最 大	平 均	実揚程 (m)	揚水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全揚水量 (m ³ /s)	
			農業競争力強化農地整備事業	計							
羽佐竹第1揚水機		香六ダム	30.3	30.3	0.019	0.100			1		

(二) 用水路

()は変更前

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積(ha)		最大通水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構 造	備 考
	事 業 名					
	農業競争力強化農地整備事業	計				
パイプライン	34.0	34.0	0.019	(5.6) 6.6	(50~300) VP75~300	農地耕作条件改善事業 パイプライン含む
計		34.0		5.6		

(オ) その他の水源施設

該当なし

(3) 水温水質

水温、水質とも作物生育上支障なし

第4節 排水計画

1 計画基準雨量

1/10年確率（時間雨量） 43.7 mm/hr (4時間雨量) 94.1 mm/4hr

1/2年確率（時間雨量） 31.6 mm/hr (4時間雨量) 64.0 mm/4hr

2 計画排水方式

角フリュームまたはDFフリュームにより河川または下流水路へ自然排水する。

3 計画排水系統

別添資料⑤参照

4 計画排水量

(第11表-1)

排水 系統名	項目	受益面積(ha)				流域面積 (km ²)		基準 雨量 (mm)	降雨による		基底流出量 (m ³ /s/km ²)		全排水量(m ³ /s)			単位排水量 (m ³ /s/km ²)		備 考
		事業名		直接単位流出量 (m ³ /s/km ²)	山地				平地	山地			平地	山地	平地	山地	平地	
		農業競争力強化農地整備事業	計			山地	平地				山地	平地						
				自然排水	機械排水				山地	平地								
A		24.5	24.5	0.102	0.263	94.1	3.267	2.614			0.003	0.640			0.012	2.601		
B		9.8	9.8	0.039	0.109	94.1	3.267	2.614			0.001	0.256			0.010	2.602		
計		(34.9)	34.3	(34.9)	34.3	0.141	0.372											

5 排水対策

(1) 排水水門

該当なし

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km ²)		受益面積(ha)			計画排水量		排水本川			備考
			事業名			排水量 (m ³ /s)	地区内 湛水深(m)	名称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
					計						
計											

(2) 排水機

該当なし

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量		排水機				備考
		事業名			排水量 (m ³ /s)	地区内 湛水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全排水量 (m ³ /s)	
				計							
計											

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)		計画排水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構造	排水本川			備考
		事業名					名称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
		農業競争力強化農地整備事業	計							
支線排水路	0.18	34.3	34.3	0.524	4.37	KF200~400 DF800*800	若幡川、生田川			
計			34.3		4.37					

(4) その他

該当なし

6 たん水検討

該当なし

第5節 道路計画

1 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

項目	幅(有効)×延長 (m) (km)	構 造	既設道路との関係	備 考
路線名				
幹線道路	5.0(4.0)×0.50	アスファルト	市道に接続	
支線道路	4.0(3.0)×1.96	アスファルト	市道・農道に接続	
支線道路	4.0(3.0)×2.26	砂利	市道・農道に接続	
計	4.72			

(2) 索道

該当なし

(第12表-2)

項目	能 力(t/hr)	延長(m)	接続道路名	備 考
路線名				

2 路線配置図

計画平面図参照

第6節 農用地造成計画

1 農用地造成計画

該当なし

(1) 農用地造成計画

該当なし

(第13表-1)

項目	主要作物	自然傾斜	耕地の形状	標準区画の形状	備考
土地利用区分					

(2) 末端道水路配置図

該当なし

2 土壌改良

(第13表-2)

項目	面 積 (ha)	土壌統(区)名	pH		置換酸度 (Y ₁)	りん酸吸収 係 数 (mg/100g)	ha当たり所要量			備考
			H ₂ O	KCl			石 灰 (t)	りん酸質 資 材(t)	有機質 資材(t)	
区分										
堆肥	26.5								40	

第7節 洪水調節計画

1 計画基準雨量 該当なし

2 計画洪水量及び調節量 該当なし

(第14表-1)

地点	流域面積 (km ²)	洪水 到達時間 (hr)	計画 洪水量 (m ³ /s)	安全 洪水量 (m ³ /s)	必要 調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節後流量 (m ³ /s)	調節前後 最大流量 (m ³ /s)	調節前後 最大流量の差 (m ³ /s)	最大調節量 (m ³ /s)

3 貯水池 該当なし

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積(km ²)		計画洪水量 (m ³ /s)	貯水量(千m ³)			計画調節流量 (m ³ /s)	可能調節流量 (m ³ /s)	備考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			

4 洪水調節検討 該当なし

- (1) 河川改修計画との関係
- (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響
- (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

5 管理計画 該当なし

- (1) 管理機構
- (2) ダム管理操作上の各種基準
- (3) 洪水調節要領

第8節 干拓計画 該当なし

(第15表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考

第9節 農用地整備計画

1 区画整備

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
100×100	1.00	20.0		1m以上	
100×50	0.50	12.9		1m以上	
80×30～50	0.24～0.40	1.1		1m以上	
端田区					畑
計		34.0			

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m ³)	備考
6.1	粗砂含有量が40%以上	15	9,150	

(3) 末端道水路配置図

計画平面図参照

2 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

項目 区分	面積(ha)		土壌統(区)名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (ℓ/s/ha)	計画後の 地下水位(m)	集水渠出口 以下の 排水方式	備考
	事業名	計						
本暗渠			早稲原	40	5.8	0.5	自然排水	地下水が高い
計	34.0	34.0						

(2) 心土破碎

該当なし

(第16表-3-2)

項目 区分	面積(ha)			土壌統(区)名	土壌硬度	備考
	事業名	計				
計						

3 客土

該当なし

(第16表-4)

第16表

区分	項目	面積(ha)		土壌統(区)名	減水深(mm/日)		作土の厚さ(cm)		10a当たり 客土量 (m ³)	土壌の性質		備考
		事業名			現況 平均	計画 平均	現況 平均	計画 平均		受益地 (%)	採土地 (客土材料)(%)	
			計									

4 農地保全

(1) 防災林

該当なし

(第16表-5-1)

区分	項目	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備考

(2) 排水工

該当なし

(第16表-5-2)

区分	項目	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量		備考
					単位排出量 (m ³ /s/ha)	全排水量 (m ³ /s)	

(3) 侵食(崩壊)防止工

該当なし

(第16表-5-3)

区分	項目	位置	支配面積 (ha)	機能	備考

第10節 老朽ため池改修計画

- | | |
|------------|------|
| 1 洪水吐改修計画 | 該当なし |
| (1) 計画基準雨量 | |
| (2) 計画洪水量 | |
| 2 堤体補強計画 | 該当なし |
| 3 取水施設改修計画 | 該当なし |

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1 貯水池

該当なし

(第17表-1)

名称	形式		位置	備考					
堤体	形式	流域面積(km ²)		堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (m ³)	基盤地番 地質	貯水量(千m ³)	
		直接	間接					総貯水量	有効貯水量
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)		取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	型式	放流量 (m ³ /s)

2 頭首工

該当なし

(第17表-2)

名称	位置	備考		
型式	堤高 (m)	堤長(m)		付帯施設
		固定部	可動部	

3 揚水機

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m ³ /s)	揚程(m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 ()	台数 (台)	
羽佐竹第1揚水機	安芸高田市高宮町	0.073			渦巻ポンプ	200	1		45Kw	1	

4 用水路

()は変更前

(第17表-4)

項目 水路名	かんがい面積(ha)	通水量 (m ³ /s)	延長(km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名		開きよ	トンネル その他	計				
	農業競争力強化農地整備事業								
パイプライン	34.0	0.100		(5.64) 6.57	(5.64) 6.57	(50～300) VP75～300	—		農地耕作条件改善事業 パイプライン含む
計				(5.64) 6.57	(5.64) 6.57				

第2節 排水施設

1 排水水門

該当なし

(第18表-1)

項目 名称	位置	形式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水路 (m ³ /s)	備考
計							

2 排水機

該当なし

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 (m ³ /s)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 ()	台数 (台)	

3 排水路

(第18表-3)

第10表

項目 水路名	受益面積 (ha)	排水量 (m ³ /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名		開きよ	トンネル その他	計				
	農業競争力強化農地整備事業								
支線排水路	34.3	0.745	4.248	0.124	4.372	KF200～400 DF800*800	1/100		
計	34.3		4.248	0.124	4.372				

4 その他

該当なし

第3節 道路及び索道

1 道路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

区分	項目 路線名	幅(有効)(m) ×延長(km)	構造	付帯構造物			最急 こう配 (%)	同左の 延長 (m)	最小曲線 半径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (箇所)				
幹線道路	1路線	5.0(4.0)×0.50	AS	L型側溝	L型側溝	500.0				
支線道路	12路線	4.0(3.0)×4.22	AS・砂利							
計		4.72				500.0				

(2) 道路主要構造物

該当なし

(第19表-2)

項目 路線名	名称	規模構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考

2 索道

該当なし

(第19表-3)

項目 名称	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原 動 機		備考
				型 式	能 力 ()	

第4節 農用地造成

1 農用地造成

(1) 抜根

該当なし

(第20表-1)

区分	項目	樹種	樹径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考

(2) 除 礫

該当なし

(第20表-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工 法	備 考

(3) 開 墾 作 業

該当なし

(第20表-3)

区 分	項 目	面 積 (ha)	工 法	備 考
	地 目	造 成 工 法		
	計			

(4) 地 目 変 換

該当なし

(第20表-4)

区分	項目	面積(ha)	工 法	備 考
	計			

(5) 末 端 用 水 路 等

該当なし

(第20表-5)

区分	項目	数量	規模	構 造	備 考
	計				

(6) 末 端 排 水 路 等

該当なし

(第20表-6)

区分	項目	数量	規模	構 造	備 考
	計				

2 土壤改良

(第20表-7)

区分	項目	面積 (ha)	石灰量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考
	堆肥	26.5			40t/ha	
	計	26.5				

第5節 洪水調節施設

1 貯水池 該当なし

2 頭首工及び導水施設

(1) 頭首工 該当なし

(第21表-2)

名称			位置	堤長(m)			備考
型式	集水面積 (km ²)	提高 (m)	固定部	可動部	計	計画洪水位 (m)	

(2) 導水路 該当なし

(第21表-3)

水路名	項目	通水量 (m ³ /s)	延長(m)			構造	勾配	備考
			トンネル	その他	計			

第6節 干拓施設

1 堤防 該当なし

(第22表-1)

(第22表-1)										
項目 名 称	型式	延長 (m)	構造					原地盤標高(m)		備考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	最低	

2 潮止め

該当なし

(第22表-2)

項目 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

3 付属施設

該当なし

4 埋立

該当なし

(第22表-3)

項目 区分	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m ³)	施工方法	備考

第7節 農用地整備施設

1 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量(m ³)	面積(ha)	土量(m ³)	
鍋石	34.3	50a	19,700	6.1	9,150	

(2) 末端用水路等

該当なし

(第23表-2)

項目 区分	数量	規模	構造	備考

(3) 末端排水路等

(第23表-3)

項目 区分	数量	規模	構造	備考

2 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

区分	項目	面積 (ha)		集水渠				吸水渠					集水渠出口以下の排水施設			備考	
		事業名		勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造		数量 (m/ha)
		農業競争力強化農地整備事業	計														
	水田・畑	34.0	34.0	1/500	塩ビ管	φ80~100	29	1/500	合成樹脂管	φ50~80	0.6	10	600	排水路・用排水路	KF200~DF800*800		
	計	34.0	34.0														

(2) 心土破碎 該当なし

(第23表-4-2)

区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

3 客土 該当なし

(第23表-5)

区 分	項 目	面積 (ha)		客入土量 (m ³)	土取場土量 (m ³)	運搬距離 (km)	運搬方法	備 考
		事業名						
			計					
計								

4 除礫 該当なし

(第23表-6)

区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

5 農地保全

(1) 防災林

該当なし

(第23表-7)

区分	項目	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考

(2) 排水路

該当なし

(第23表-8)

区分	項目	延長 (m)	流量 (m ³ /s)	構造	備考

(3) 侵食防止工

該当なし

(第23表-9)

名称	項目	構造	数量	備考

第8節 老朽ため池改修施設

1 貯水池

該当なし

(第24表)

名称	型式	流域 (km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)	位置 堤体積 (m ³ /s)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備考
堤体								
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)	規模 (m)	備考	取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	備考

2 堤体補強施設

(1) のり面保護施設

該当なし

(2) 漏水防止工

該当なし

第6章 附帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

()は変更前

地区名	着手予定年度	完了予定年度	備考
鍋石	平成29年度	(令和6年度) 令和9年度	

第8章 環境との調和への配慮

環境調査で確認された希少動植物への配慮については、イチョウウキゴケ、シャジクモ、キキョウ、オミナエシは施工前移動・移植等の対応を行う。

また、工事着手後に保護すべき生物が確認された場合は、対応・工法について検討を行い適切に対処する。

工事中は、河川汚濁防止施設を設置し、工事区域からの濁水放流に配慮する。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

原則として、各人の従前地の土地が最も密集した位置を中心に集団化を図り、本地区の換地設計基準、土地評価基準に基づいて換地配分する。

第2節 換地区の設定

1 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
鍋石	安芸高田市高宮町羽佐竹、来女木	44.6

2 換地区を設定する理由

該当なし。

第3節 換地計画樹立の基本方針

1 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準
鍋石	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、国土調査法による地籍調査に基づく登記が完了している土地(国土調査法第19条第5項の指定を含む)にあつては、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とし、これ以外の土地にあつては、広島県の行う実測による地積とする。

2 用途別予定地積

(単位:ha)

(第25表-3)

換地区名	用途 (取得予定者) 前後	非農用地区域外に換地する土地											非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地				一般 国 公 用 地	総 合 計		
		田	畑	山林・ 原野	その他	通常事業施行地 域に含める土地 (令第1条の9括弧書き)			計	本事業によって 生ずる土地改良 施設用地			農 創 用 地 設 計	合計	特定用途用地			異 種 目 換 地	創設非農用地					合計	国	県			市	合計
						土地 改良 施設	その他	小 計		改 良 区	市	計			宅 地	そ の 他	計		農 業 経 営 合 理 化 施 設 用 地	生 活 上 ・ 経 営 上 必 要 な 施 設 用 地	公 用 ・ 公 共 用 地 施 設 用 地	宅 地 等	計							
鍋石	従前の土地	8.1	29.3	0.9		0.0		0.0	38.3					38.3		0.3	0.3	2.4						2.7			3.6	3.6		44.6
	換 地	6.1	27.9	0.3		0.0		0.0	34.3	3.0		3.0		37.3		0.3	0.3	1.9						2.2			5.1	5.1		44.6
全体	従前の土地	8.1	29.3	0.9		0.0		0.0	38.3					38.3		0.3	0.3	2.4						2.7			3.6	3.6		44.6
	換 地	6.1	27.9	0.3		0.0		0.0	34.3	3.0		3.0		37.3		0.3	0.3	1.9						2.2			5.1	5.1		44.6

3 農用地集団化の方針

(第25表-4)

換地区名	区分	地帯別、グループ別・ 団地の設定	個人別換地の方法		
			位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
鍋石		(地目別、作物別集団化) 畑の中に混在する水田は、工事後に残す 水田の希望面積を取りまとめ、従前に水 田が最も多くあった位置にまとめて換地す る。	母地集団化方式	おおむね2団地	(固定畦畔) ア.換地は、原則として標準区画を単位 に交付するが、換地すべき面積が標準 区画に交付して余る場合又は標準区画 に不足する場合は標準区画を分割して 交付する。 (移動畦畔) ア. 畦畔は、配分面積に応じて移動して 定める。

4 非農用地の換地方法

(第25表-5)

換地区名	区分	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (m ²)	換地の手法	換地取得予定者	その他
鍋石		別添資料⑥参照					

第4節 土地の評価及び清算の方法

1 評価の方法

項目別配点評価方式

本地区で決定した評価基準に基づき評価委員が評価する。

2 清算の方法

比例地積清算方式

事業による増価額を従前の土地の交付対象面積に比例して配分する。

第5節 換地計画樹立の年度計画

()は変更前

(第25表-6)

換地区名	区分	一時利用地の指定 予定年度	換地計画の決定 予定年度	換地処分 予定年度	備考
鍋石		(令和3～5年度) 令和3～8年度	(令和6年度) 令和9年度	(令和6年度) 令和9年度	

第6節 換地処分の時期に関する特則

該当なし。

第10章 事業費の総額及び内訳

()は変更前

(第26表)

区分	事業名	農業競争力強化農地整備事業(農地整備事業)(百万円)		農地耕作条件改善事業(百万円)		備考
区画整理		(1356)	1,590	(336)	466	
暗渠排水		(106)	106			
土壌改良		(273)	273			
小計		(1735)	1,969	(336)	466	
近代化施設用地						
測量試験費		(111)	126			
用地買収補償費		(12)	12			
換地・確定測量費		(35)	35			
事務費(工事雑費含む)		(94.65)	107.1	(16.8)	23.3	
合計		(1987.65)	2249.1	(352.8)	489.3	
関連事業(参考)						

第11章 効用

()は変更前

(第27表)

事業名	区分	年総効果額(千円)		年増加農業所得額(千円)		備考
農業競争力強化 農地整備事業	作物生産効果	(18,974)	13,403	(51,219)	29,887	
	営農経費節減効果	(116,555)	161,556	(116,555)	161,556	
	維持管理費節減効果	(△627)	△ 693	(△627)	△ 693	
	耕作放棄地防止効果	(50)	20	-	-	
	国産農産物安定供給効果	(11,074)	6,301	-	-	
	計	(146,026)	180,587	(167,147)	190,750	

第12章 関係する事業

該当なし

(第28表)

区分	事業名		事業主体		受益面積(ha)	事業内容

第13章 現況・計画図面

- 1 現形図
- 2 計画平面図及び土地利用計画図
- 3 主要構造図

